

患者さんの安全を守るために

「院内感染」とは、重大な感染症(肝炎、HIV、梅毒など)が院内で患者さんから患者さんへ、患者さんから治療をする人へ、治療をする人を介して他の患者さんへうつることをいいます。鋭利な器具を使い唾液や血液に触れる機会も多い歯科医院では、患者さんの安全を守るためにどんな対応が行われているのでしょうか？

使い捨て(ディスposable)タイプの使用

コップやエプロン、拭き取りの紙ナプキンなど、汚れるものや直接口に触れるものは、すべて使い捨てるものが使われるようになってきました。

患者さんのお口に触れるときは、十分な手洗いのあとグローブ(治療用手袋)とマスクを着けます。

水洗・洗浄と消毒

使い終わった器具は水洗い後、薬液で洗浄されます。これで細菌や微生物のほとんどが除去されます。

「超音波洗浄器」(各種薬液入りの容器に器具を浸し、超音波の振動を利用して洗浄する器械)を使うと、洗浄・消毒の効果がさらに高くなります。この際、当院では強酸性水、アルカリ水を使用しています。その後、高温水による自動洗浄機も利用しています。

滅菌

消毒までの過程で感染性の危険はなくなりますが、外科用の器具はさらに高圧蒸気滅菌機(オートクレーブ)を使用します。高温高圧の蒸気で滅菌処理する装置です。この装置で細菌や微生物を完全に死滅(「滅菌」といいます)させます。

器具類をパックに入れてオートクレーブで「滅菌パック」にし、患者さんごとに使います。

環境への配慮

歯科治療では空気中に微細な粉塵などが飛び散ります。治療環境が少しでも清潔になるようにと、大型の空気清浄機や「口腔外バキューム」などが活躍します。



危険な感染症にかかっているとき、そのことを伝えておかないといへん危険です。適切な治療を受けるためにも、問診表は正しく書いてください。



KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

7 2005年 月号



梅雨のうつとうしい時期ですが、みなさん体調管理にお気をつけ下さい。暑い時期になると(この時期だけではないですが)特に気をつけなければならぬのが、清涼飲料水とアイスクリームなどの氷菓子類。

医院での指導を覚えておいでの方には、あえて申し上げなくてもよいことなのですが、むし歯予防には糖分(とくに砂糖を代表とする糖質)の取り方に注意が必要です。また、ご飯、せんべい、麺類などの主成分である炭水化物(デンプン)も、唾液中の酵素(アミラーゼ)の作用で糖質に変わります。そのために規則正しい食生活も必要なのです。むし歯予防のためには、ただ通院するだけでは足りません。生活習慣からむし歯、歯周病を考えていかなければ、本当の意味での『予防歯科』は不可能なのです。

さて、当院のスタッフに新人衛生士の杉浦が加わりました。張り切っておりますので、皆様どうぞよろしくお願いたします。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニューズレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

☆診療日変更のお知らせ☆

7月15日(金)～18日(月) } 連休です。
8月12日(金)～15日(月)



☎ 03-5699-8888

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

「インターネット予約確認サービス URL」 <http://www.dent-s.net/komiya/>
ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp